

八丈島の光るキノコ観察会に参加して

淵澤 功

私は八丈島には多少縁があり、子供時代から数回訪れているので、一昨年12月の講演会で大場由美子さんの「八丈島の光るきのこ」を興味深く聴講し、翌年の夏に観光をかねて「光るキノコ観察会」に参加することにしました。

事前に八丈植物公園のサイトで実施日を調べたところ、実施されない曜日もあるので3泊4日の日程で初日の夜観察会に参加して観察場所を確認し、3日目に再度個人的に時間をかけて観察するつもりで予定を立て翌年8月の末に今回初めて飛行機を利用して23年振りに八丈島を訪れました。

初日の午後到着してすぐに観察会の会場である八丈植物公園に行き下見をかねて園内を一周しました。しかしながら園内には硬いきのこが少し見られるだけでキノコらしいキノコは全く見られませんでした。

気落ちして出口に向かう途中メインエントランスの近くに「光るキノコ観察会場」の看板が目につきこのことかと改めてその会場をくまなく回りましたが、材上、地上とも全くキノコを見つけることはできませんでした。

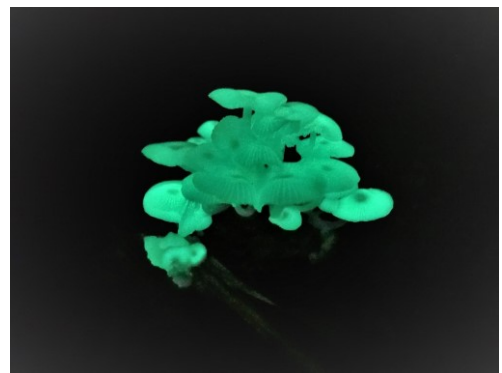
残念な思いで植物園を出て家内とおそらく今日は条件が悪く観察会は中止だろうなどと話し、夕食を終えて念のため植物園の集合場所に行くと意外にも観察会の受付場所があり、参加者も十数人集まっていました。

まもなくボランティアガイドさんの説明があり注意事項として懐中電灯は使用しな

いこと、カメラのフラッシュはたかないことなどの注意がありました。その後ガイドさんの赤色懐中電灯に従いすっかり暗くなった会場に案内されました。

そこで見られたのは意外にもロベレニーの葉柄上でなく地上にかなりの光量のヤコウタケが沢山点在していました。その時はどうして日中気が付かなかったのか不思議に思いました。

ガイドさんに従っての団体行動なので三脚を使う余裕もなく、数枚の写真を撮りましたが私の技量がなく添付写真のように出来の悪い写真となりました。しかしヤコウタケの発光の度合いは想像していたよりも強くなりかなりの光量があったことには驚かされました。



地上のヤコウタケ

観察会を終えてホテルへの帰りの車の中でどうして日中ヤコウタケに気が付かなかったのか考えているうち、大場さんの講演の中にあった「人工培養」という言葉に気づき

すべて納得がいき、今日のツアーはボランティアの皆さんや関係者の皆さんの陰のご努力の結果であることがわかりました。その結果翌々に予定していた個人観察も自生でないことから多少興味がそがれ、また何よりも真っ暗闇の中での個人行動が不可能なことがわかり取りやめとすることにしました。

夜ホテルで空港で取り寄せたパンフレットを参考に明日の予定を考えましたが、選定基準はキノコに出会えそうな所です。ご存じのように八丈島は西に八丈富士、東に三原山の二つの火山からなる瓢箪形の島です。八丈富士を擁する西半分は牧草地を主として、川らしい川はありません。それに反し東の三原山山麓にはいくつかの小さな川もあり手つかずの鬱蒼とした森もあります。キノコ期待で幾つかのイベントパンフの中から中之郷地区の「ヘゴの森ハイキングコース」を選び電話予約をしました。

翌日は午前中に島の東端、末吉にある遠縁の墓参りをした後、集合場所に行くに参加者は我々夫婦だけでした。ガイドさんに従い三原山の麓の多少の標高差のある道約2キロを1時間半案内してもらいました。

ここは昔の園芸用ヘゴ栽培地の跡と思われませんがヘゴ以外にも多様な自生のシダ植物や樹木が生い茂りそれなりに興味深いところでした。森の中は適度な湿気がありキノコの環境としては良かったのですが、道中きのこを写真に収めたのは残念ながらウスヒラタケに似た白いキノコとヌメリガサ科のキノコの2件だけでした。冬虫夏草のようなものも見られたのですが、ガイドさんに遅れを取るわけにもいかず確認することはできませんでした。

ウスヒラタケに似たキノコは旅行から帰り自宅のパソコン上で見ると裏面が網目状になっていることに初めて気付き、手持の図鑑山溪フィールドブックスからミナミアシグロタケであることがわかりました。



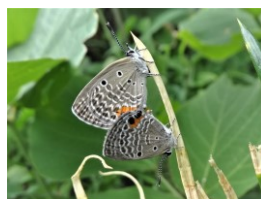
ヘゴの森 まるでジュラシックパーク



ミナミアシグロタケ

今回の四日間の旅行中絶えずキノコに注意を払って行動していましたが、キノコとの出会いが殆どなく、全く予想外の結果でした。

また光るキノコに関しては現地で自生の光るキノコを見るイベントもあることを後で知り事前調査不足でした。私は昆虫についても興味がありましたが、これも予想外に出会えず、南方系の昆虫で出会えたのは、クロ



クロマダラソテツジミ

マダラソテツジミ、リュウキュウツヤハナムグリ、コマダラナガカメムシの3種だけでした。中でもクロマダラソテツジミは数年前から見

られ始め、幼虫はソテツの害虫と言われてますが、あちこちで見られこれから島のソテツに与える影響が心配されました。